

現代英語学科

シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1	8	日本語表現法
1	46	Grammar II (Aクラス)
1	57	Vocabulary Building
1	58	海外研修
1	59	海外研修(個人)
1	72	基礎ゼミ
2	86	カリキュラムの変更に伴う読み替え対応表
2	87~88	World Mythology
2	109	Business Communication
2	110	Essay Writing (Aクラス)
2	111	Essay Writing (Bクラス)
2	125	American Studies
	142	現代英語学科教員一覧、実務経験を有する教員一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●	●						
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	40 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。 									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画				準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				事前学修：語族について調べる 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
2	日本語の歴史				事前学修：古事記について調べる 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
3	ことばと表現①（熟語、語句）				事前学修：漢検2級レベルの漢字を確認 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
4	ことばと表現②（ことわざ、故事成語）				事前学修：漢検2級レベルの漢字を確認 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
5	敬語表現①（敬語の基本）				事前学修：尊敬語と謙譲語の相違の確認 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
6	敬語表現②（尊敬語と謙譲語）				事前学修：尊敬語と謙譲語の相違の確認 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
7	話してみよう①（インタビューとショートスピーチ）				事前学修：結婚式スピーチを調べる 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
8	話してみよう②（グループディスカッション）				事前学修：少子化対策を考える 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
9	修飾語と被修飾語との関係①（原則論）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
10	修飾語と被修飾語との関係②（練習問題）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
11	句読点の打ち方（原則論）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
12	句読点を打つ練習と文章要約①（境界の点）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
13	句読点を打つ練習と文章要約②（逆転の点）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
14	意見文の書き方（4 STEPS）				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
15	意見文の作成と句読点を打つ練習				事前学修：河北新報の「河北春秋」を読む 事後学修：チェックテストの復習			30	30	
アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループディスカッション インタビュー ショートスピーチ）									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	『日本語の作文技術（朝日文庫）』本多勝一著 朝日新聞出版 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著 風間書房									
備考	授業内課題については、次の授業内にてフィードバックを行う。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

該当しない。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08			
	●	●							
科目名	Grammar II				単位認定者	高橋 未希 (Aクラス)		授業内課題 ①小テスト	45 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	授業内課題 ②まとめテスト	40 %
							授業時間数	30 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Grammar I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての確に理解し、多様なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めて行く。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカ― (Therefore, However, In addition等) に重点を置いて学習する。各段落内部の構造 (トピックセンテンス、例証、結論) の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。								
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。								
学修者への期待等	発表・ペアワーク等で演習問題に取り組むことで理解度を深めます。指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。								
回	授業計画				準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業の概要確認、Factbook: 不定詞 (1) 名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法について 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
2	Factbook: 不定詞 (2) (3) 否定形、不定詞の重要表現 独立不定詞 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
3	不定詞: 理解を深める (演習プリント)、小テスト				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
4	Factbook: 動名詞 (1) 主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞 (2) その他 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
5	動名詞: 小テスト、Factbook: 分詞 (1) 名詞修飾説明型 解説と演習分詞				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
6	Factbook: 分詞 (2) 動詞句の修飾 分詞構文 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
7	分詞構文の理解を深める (演習プリント)、小テスト				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
8	Factbook: 比較 (1) (2) 原級 比較級 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
9	Factbook: 比較 (3) 最上級 解説と演習 比較 (1) (2) 復習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
10	比較: 理解を深める (演習プリント)、小テスト				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30
11	Factbook: 関係詞 (1) who / which / whose 解説と演習				事前学修: 指定された箇所を予習する 事後学修: 学んだ内容の復習、宿題をする			30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
12	Factbook:関係詞(2)(3) 関係副詞 非制限用法 解説と演習	事前学修:指定された箇所を予習する 事後学修:学んだ内容の復習、宿題をする	30	30
13	関係詞:理解を深める(演習プリント)、小テスト	事前学修:指定された箇所を予習する 事後学修:学んだ内容の復習、宿題をする	30	30
14	Factbook:前置詞 at / in / on	事前学修:指定された箇所を予習する 事後学修:学んだ内容の復習、宿題をする	30	30
15	ふりかえり:まとめのテスト、フィードバック	事前学修:これまでの内容を復習する 事後学修:フィードバック内容を整理する	60	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり:キーワード(発表、ペアワーク)			
教科書	『総合英語FACTBOOK:Advanced』 桐原書店編集部編 桐原書店 ISBN:9784342212376			
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。			
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-21				
	●	●								
科目名	Vocabulary Building				単位認定者	高橋 未希		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	This elective course focuses on helping students improve and understand vocabulary words by examination of Greek and Latin bases of words, recognition of word parts such as prefixes and suffixes, and studying the etymological meanings of words. The larger our vocabularies the more clearly we can communicate with others and understand what others are trying to communicate to us. Students taking this course will learn new vocabulary words by practicing reading in context, by writing sentences using the words and by doing practice exercise and quizzes.									
到達目標	①日常的に目にする一般的な英語の語彙や慣用句について理解を深めることができる。 ②日常的话题について使う語彙や慣用句について、話す・聞く・読む・書くの場面で実際に使用し、応用することができる。 ③日常的话题について、ペアワークやグループワークを通して、様々な視点から内容の理解を深め思考力を向上することができる。									
学修者への期待等	事前、事後学修に十分な時間を確保してください。各Unitで取り上げる語彙や表現は実際に使う事で記憶にも残りやすくなるので、授業中の活動への積極的な参加を期待しています。わからないことや不明な点があればそのままにせず、必ず授業担当者に聞くこと。授業にはテキストと辞書をもってくること。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業概要説明 Unit 1. The World of Advertising / Verbs / ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30
2	Unit 2. Online Advertising : Making Our Lives Better? / collocations / ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30
3	Unit 3. Going to Extreams / Verbs and Adverbs / ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30
4	Unit 4. Winning at Any sports / collocations / ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30
5	Unit 5 Our Aging Population / Adjectives and Nouns/ ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30
6	Unit 6. Do you want to Live Forever? / Words in Context/ ペアワーク				事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。				60	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
7	Unit1からUnit6 までのreview活動 /グループワーク	事前学修：Unit1からUnit6までの内容を復習し、要点を整理しておくこと 事後学修：Review活動での内容を振り返り、学習が不足している箇所等を見直して復習を行うこと	60	30
8	Unit 7. Robots in the Home / Nouns/ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
9	Unit 8. I love my job to a Machine / Words in context / ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
10	Unit 9. Animals: Our Research Partner? / collocations /ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
11	Unit 10. Treatment of Animals / Words in context / ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
12	Unit 11. Online information / collocations / ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
13	Unit 12. News: Fact of Fake? / Words in context / ペアワーク	事前学修：テキストの該当ページを必ず読み、基礎的内容を整理・専門用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：全体を復習し、特に学修した語彙や表現については意味やスペルを書けるようにしておくこと。	60	30
14	Unit7からUnit12 までのreview活動 /グループワーク	事前学修：Unit1からUnit6までの内容を復習し、要点を整理しておくこと 事後学修：Review活動での内容を振り返り、学習が不足している箇所等を見直して復習を行うこと	60	30
15	総括：全体のレッスンについてのまとめおよび省察活動	事前学修：本授業の全レッスンについて、扱った話題や語彙、表現について復習しておくこと 事後学修：省察活動後のフィードバックに基づいて再度振り返る	60	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペアワーク グループワーク）			
教科書	In Focus 1 Charles Browne / Brent Culligan / Joseph Phillips 著 金星堂 ISBN:978-4-7647-4193-5			
参考文献	必要に応じて適宜授業内外で紹介する			
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。小テスト等の課題についてのフィードバックは適宜授業内もしくは外（UNIPA）にて行う。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-12				
	●	●	●	●	●					
科目名	海外研修				単位認定者	相田 明子 高橋 未希		授業内課題 (レポート)	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題 (発表等)	60 %
					授業形態	実習	授業時間数		90 時間	受講態度
				授業回数			集中			
授業の概要	英語圏での研修を通して、世界における英語の重要性を実感し、今後の英語学修のモチベーションとする。英語力の強化はもとより、異文化に直接触れ、異文化社会の中で生活することを通して、コミュニケーション能力を高め、また、課題を発見し、解決する力を身につけることを目的とする。具体的には、現地の大学での語学研修に加え、現地の住民や他国の留学生などとの交流活動を行う。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語圏での学修やホームステイの経験を通して、英語の重要性や実用性を体感し、学修へのモチベーションを高めることができる。 課題に向き合い、周囲と協力しながら英語を使って問題を解決することが出来るようになる。 グローバルな視点を持って物事を考察することが出来るようになる。 									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。 ④短い研修期間を有意義に過ごすため、日本での準備をしっかりと行うこと。 ⑤現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待する。 									
授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1. 研修先・研修期間 4月ガイダンス時に説明する。 2. 授業計画 現地校での英語学修と観光事情についての学修を学びの中心とする。 (1) 事前学修 (学内) 第1回 海外研修の目的 第2回 海外研修のための具体的な準備 第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表 (2) 海外研修 (16日間 現地にて) 現地校での英語クラスに出席し、学修する。 ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の向上に努める。 現地での見学先や交流先での体験は、提示された課題にまとめる。 (3) 事後学修 (学内) 第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告書作成について 第5回 海外研修報告会 3. 目標 ①英語圏での生活と学修により、自身の英語コミュニケーション力を体験的に理解し、今後の学修に活かす。 ②英語圏の人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。 【注意事項】 ① 学内実施の「事前学修」、「事後学修」の日程は、UNIPA等で連絡する。 ② 現地での研修期間中に個人的な事由により現地授業や視察に出席できなかった場合、原則として単位認定を行わない。 ③ 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合、事前学修が行われていても、単位認定を行わない。					事前学修：なし 事後学修：なし			0	0	
教科書	資料は授業で配布する。									
参考文献	事前研修等で指示する。									
備考	社会情勢等により開講できない、また、プログラム内容が変更する場合があります。課題は事前・事後研修内でフィードバックを行う。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-26				
	●	●	●	●	●					
科目名	海外研修（個人）				単位認定者	高橋 未希		旅程の計画と達成	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	通年	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	提出物、発表等	20 %
							授業時間数		45 時間	受講態度(出席日数)
				授業形態	実習	授業回数			集中	
授業の概要	夏季・春季の長期休暇を利用して海外に滞在し、大学付属の語学学校や現地の語学学校の授業を2週間以上受講した場合において単位を認定する。学科が認める渡航先であること。滞在日数に応じたジャーナルの提出と語学学校からの修了証書を提出すること。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅程を計画し、英語圏での学修やホームステイを遂行することができる。 ・ 英語圏での学修や生活の経験を通して、英語の重要性や実用性を体感し、学修へのモチベーションを高めることができる。 									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ・ 現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待します。 									
授業計画					準備学修			事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	
<p>1. 研修先・研修期間</p> <p>学科が認める渡航先であること。詳細については、4月のガイダンス時に説明する。</p> <p>2. 授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学修（学内：3回） <p>研修先・研修期間について確認し、海外研修の自己目標を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外研修（現地にて） <p>現地校の語学学校における英語クラスに出席し、学修する</p> <p>ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の向上に努める</p> <p>現地での体験は、ジャーナルにまとめる。</p> <p>修了証書を受け取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事後学修（学内：2回） <p>ジャーナルを提出する</p> <p>自己目標に対する研修の振り返りについて、報告をする。</p>					事前学修：なし 事後学修：なし			0	0	
教科書	現地の語学学校にて使用する。									
参考文献	事前研修等で指示する。									
備考	社会情勢等により、実施ができない場合があります。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-02				
	●	●	●							
科目名	基礎ゼミ				単位 認定者	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		試験 (レポート)	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内発表・ 課題提出(5 回)等	40 %
					授業形態		演習		授業回数	30 時間
								15 回		
授業の概要	<p>初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするため、大学生活への導入、大学教育の意義や目的を理解し、文章の読み方・書き方(文章表現力)など、基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目標とする。</p> <p>また、批判的思考力を養い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>									
到達目標	学修についての自己管理ができ、計画的な学修を実行できるようになる。 仲間を信頼し、協力して学修を遂行できるようになる。									
学修者への 期待等	授業は合同実施の回とグループ単位で実施の回とがあるため、掲示等をよく確認の上、授業に臨むこと。また、グループワークでは、他人任せにせず、皆で協力し、積極的に取り組むこと。									
回	授業計画			準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	大学生生活と学修環境①海外での学び「海外研修」と「認定留学」 浦沢 みよこ (ゲストスピーカー)			事前学修： 事後学修：		0	0	相田 明子		
2	大学生生活と学修環境について②AIの使い方 グリーン ジェニファー (ゲストスピーカー) レポート (1)			事前学修： 事後学修：		0	0	相田 明子		
3	大学生生活と学修環境について③ゼミ教員との面談			事前学修： 事後学修：		0	0	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
4	学外学修①仙台空港研修			事前学修：仙台空港への行き方を確認、空港の役割を調べていく 事後学修：		30	0	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
5	学外学修①仙台空港研修 レポート (2)			事前学修： 事後学修：レポートを作成する		0	30	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
6	大学生生活と学修環境について④資格取得、ANA集中講義について			事前学修： 事後学修：		0	0	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
7	大学生生活と学修環境について⑤ゼミ教員との面談			事前学修： 事後学修：		0	30	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
8	ゲストスピーカーによる講演会「多読でひらく英語の世界ー多読のすすめ」サム マーチー (ゲストスピーカー) レポート (3)			事前学修： 事後学修：レポートを作成する		0	0	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
9	国際交流 (多文化アカデミーとの交流) レポート (4) (地下教室)			事前学修： 事後学修：お礼の手紙を書く		0	30	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
10	プレゼンテーション①相手に伝えるプレゼンテーションの工夫 (各グループ)			事前学修： 事後学修：指導された点をふまえて、内容を確認する		0	30	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
11	プレゼンテーション②相手に伝えるプレゼンテーションの工夫 (各グループ)			事前学修：プレゼンの準備をする 事後学修：指導された点をふまえて、内容を確認する		30	30	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		
12	プレゼンテーション③合同発表会 (全員の発表) *1人2分程度で全員が発表する			事前学修：プレゼンの準備をする 事後学修：		60	0	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希		

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
13	学外学修②：見学地の訪問と現地学修 (仙台ロイヤルパークホテルスタッフによる研 修) (1)	事前学修： 事後学修：レポート に取り組む	0	30	小松 義隆
14	学外学修②：見学地の訪問と現地学修 (仙台ロイヤルパークホテルスタッフによる研 修) (2)	事前学修： 事後学修：レポート に取り組む	0	30	小松 義隆
15	1. 前期の総括 最終レポート課題の提示、後期の科目履修説明 2. 到達度確認テストの受験	事前学修：サンプル 問題に取り組む 事後学修：最終レ ポートを仕上げる	60	60	相田 明子 小松 義隆 高橋 未希
アクティブ・ ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（グループワーク）				
教科書	使用しない。				
参考文献	授業時に、適宜紹介する。				
備考	単位認定者：相田 明子、小松 義隆、高橋未希 第10回と第11回はグループに分かれて実施する。授業内課題は返却時に指導、授業内での発表に対しては授業内でフィードバックを行う。ゲストスピーカー、学外学修先の都合により、実施順は入れ替わる場合がある。状況によって、遠隔授業になることがある。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HCU-03				
				●	●					
科目名	World Mythology				単位認定者	スミス アンソニー		授業内課題 (小テストを含む)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	Students taking this compulsory course will explore in-depth the world of mythological gods and beasts, and will come to learn how creation stories and ancient oral traditions served a vital role for early civilizations in making sense of the physical world. It should be noted that mythology has greatly influenced many of Shakespeare's plays. This course will focus mainly on Greek, Roman, Norse, and Egyptian cultures. Throughout this course, students will also gain a basic understanding of the Bible.									
到達目標	本講義では、英語圏社会との関わりにおいて、必須とされる「教養」の基本を知ること、言語への理解を含めて、文化理解を深めることを目標とする。									
学修者への期待等	受講者間でのペアワークやディスカッション、コメントシートなど、授業の内容に関して自身の意見をアウトプットする時間を設ける。アクティブラーニングへの理解と積極的な参加を期待する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	ギリシャ・ローマ神話への導入				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
2	創世神話 ① ガイアとウラノスを中心に				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
3	創世神話 ② クロノスとレアを中心に				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
4	ダイダロスとイカロス				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
5	オルペウスとエウリュディケ				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
6	ペルセウスとメドゥーサ				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
7	テセウスとミノタウルス				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
8	ギリシャ・ローマ神話における英雄像				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30
9	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違い				事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。				60	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
10	ユダヤ教、及びキリスト教における洪水神話	事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。	60	30
11	イスラム教における洪水神話	事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。	60	30
12	日常を彩る北欧神話	事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。	60	30
13	エジプト神話 オシリス神話を中心に	事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。	60	30
14	シェイクスピア作品のモチーフとなった神話	事前学修：授業に備え、プリントの内容を理解しておくこと。 事後学修：しっかり復習し、小テストに備え、要点を纏めておくこと。	60	30
15	最終プレゼンテーション	事前学修：プレゼンテーションに備え、自らの意見をまとめておくこと。 事後学修：提出用のレポートを準備すること。	90	90
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (pairwork、 discussion and presentation)			
教科書	講義にてプリントを配布する			
参考文献	講義中に適宜指示する。			
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

科目ナンバリング
CE-2-EAD-02

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
		●	●		

科目名	Business Communication				単位 認定者	高橋 未希		評価の 方法	授業内課題等 (小テスト 振り返りテスト等)	80	%
	対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年		開講時期	前期		単位数	2 単位	授業参加姿勢
				授業形態	演習		授業回数	15 回			

授業の概要
 本科目では、基本的なビジネスの場に必要な丁寧な英語表現を学習し、実際のビジネスシーンで活用できるようになることを目的とする。
 具体的には、電話対応、アポイントメント調整、トラブル対応などの状況において、重要な用語や表現を学び、反復練習を通して、定着を図る。さらに、ロールプレイングを取り入れ、積極的に英語で会話することにより、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーション能力を培っていく。

到達目標
 ①国際的なビジネスシーンにおける会話について必要な英語力と思考力を修得することができる。
 ②外資企業で働く時や海外出張での交渉を想定した対談力を深めることができる。
 ③会話に必要な重要表現や語彙をロールプレイやペアワーク等実際のコミュニケーション活動を通して理解し活用ができる。

学修者への期待等
 授業内のコミュニケーション活動(ペアワークやロールプレイ)には積極的に取り組むことで、英語でのビジネスコミュニケーション力を鍛えます。指定課題は必ず取り組み、完成させた上で、授業に望むことを期待します。事前および事後学修の取り組み度合が各授業から学べる内容を大小を大きく左右するという意識をもって、15回の授業に臨むこと。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業についての説明 Meeting for the first time (来客や取引先との初対面の際の挨拶について、Giving bad news / Apologizing ロールプレイ)	事前学修：本シラバスを読んでおく、教科書のUnit1のP9~13についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit1を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
2	Welcoming a Newcomer (職場環境を説明する、就業規則を説明する、 Giving advice / instructions ロールプレイ)	事前学修：Unit2のP17~21についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit2を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
3	Telephone Communication (電話で対応・取次を行う、Making polite requests ロールプレイ)	事前学修：Unit3 P25~29についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit3 を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
4	Office Issues (休暇を申し出る 残業とシフト、 Explaining restriction/ regularions ロールプレイ)	事前学修：Unit4 P33~37についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit4 を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
5	Arranging a Meeting (会議を計画する、 会議室や機器を予約する、Making polite requests ロールプレイ)	事前学修：Unit5 P41~45についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit5 を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
6	Video Conferencing (ビデオ電話を掛ける、 問題に対応する Giving instructions ロールプレイ)	事前学修：Unit6 P49~53についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit6 を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
7	ふりかえり：Unit1-Unit6についての小テスト	事前学修：Unit1からUnit6までを振り返り、表現や語彙等を復習する 事後学修：ふりかえりの見直しをする	60	30
8	Job Interviews (採用面接での質疑応答、Talking about one's experience ロールプレイ)	事前学修：Unit8 P63-67 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit8を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
9	Traveling on Business (空港での手続き ホテルでのチェックイン Telling someone things have been taken care of ロールプレイ)	事前学修：Unit9 P71-75 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit9を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
10	Receiveing Overseas Visitors (海外からの訪問客を出迎える 社内を案内する Offering to help ロールプレイ)	事前学修：Unit10 P79-83 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit10を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
11	Meeting with Clients (社史を紹介する、製品やサービスについて Explaining conditions ロールプレイ)	事前学修：Unit11 P79-83 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit11を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
12	Negotiations (値段を交渉する 支払い規定の確認 Negotiating / Asking about willingness ロールプレイ)	事前学修：Unit12 P95-99 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit12を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
13	Giving Presentation (会社を紹介するプレゼンテーションを行う グラフや表を説明する Explaining proportions ロールプレイ)	事前学修：Unit13 P103-107 についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：Unit13を復習し小テストに備えておく、指定された課題に取り組む	30	60
14	ふりかえり：Unit8-Unit13についての小テスト	事前学修：Unit8からUnit13までを振り返り、表現や語彙等を復習する 事後学修：ふりかえりの復習をする	30	60
15	ふりかえりの解説 / ビジネスコミュニケーションについての講義および演習 (ペアワーク)	事前学修：授業外課題で課された部分についてあらためて見直しを行う。 事後学修：海外のビジネスコミュニケーションについて考えたことをまとめて提出する (UNIPAから)	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (ペアワーク ロールプレイ)			
教科書	『English for the Global Workplace』 Kayoko Shiomi 他著 成美堂 978-4-7919-7312-5			
参考文献	授業中に適宜紹介する。			
備考	小テスト等のフィードバックはその都度行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●			

科目ナンバリング
CE-2-EAD-04

科目名	Essay Writing				単位 認定者	高橋 未希 (Aクラス)		評価の 方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			

授業の概要
 本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction, Body, Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。

到達目標
 1. Essay Writingの基礎を学び、最終的には構成の整った300語程度の英作文ができるようになる
 2. 多彩な話題について、自身の意見を論理的に伝えるための思考力や表現力を修得することができる。
 3. Essayの構造を知り、Reading能力を高め、効率的に英文が読めるようになる

学修者への期待等
 事前・事後の学修には十分な時間を確保して取り組んでください。辞書を使うので授業に持ってくることを。ピアレビューやペアワークといった活動を通して自分自身の意見が分かりやすく伝わる書き方や伝わり方を学んでいきますので、積極的に参加することを期待します。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業の概要説明: Unit1 A Paragraph as a Product/ ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: シラバスをよく読んでおく 事後学修: 授業中に指定された課題に取り組む	30	60
2	Unit 2 Writing a Topic Sentence / Spacing / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修: 指定された課題に取り組む	30	60
3	Unit3 Writing Supporting Sentences / Capitalization/ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: 前回の授業で学んだことや学習したページを見返し、要点を抑える 事後学修: 授業中に指定された課題に取り組む	30	60
4	Unit4 Writing a Concluding Sentence / Fragments / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: 前回の授業で学んだことや学習したページを見返し、要点を抑える 事後学修: 授業中に指定された課題に取り組む	30	60
5	Unit5 Describing your Favorite Place / Articles Nouns / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修: 指定された課題に取り組む	30	60
6	Unit6 Describing Your Passion / Subject-Verb Agreement & Singular vs Plural / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修: 指定された課題に取り組む	30	60
7	Unit7 Expressing an Opinion / Tenses / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修: テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修: 指定された課題に取り組む	30	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
8	Unit8 Giving Advice and Instructions / Run-Ons / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
9	Unit9 Comparing and Contrastin / Choppiness (1)/ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
10	Unit10 Explaing Japanese Culture / Choppiness(2)/ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
11	Unit11 Narrating Past Events / Parallel Structure /ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
12	Unit12 Describing Data Expressed in Graphs /ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
13	過去問題に挑戦 ①：英検やTOEICのライティング課題に取り組んでみる /ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：授業解説やテキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
14	過去問題に挑戦 ②：英検やTOEICのライティング課題に取り組んでみる /ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：授業解説やテキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
15	過去問題に挑戦 ③：英検やTOEICのライティング課題に取り組んでみる / ペアワーク・ピアレビュー	事前学修：授業解説やテキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ ペアワーク ピアレビュー等 ）			
教科書	『Writing Accelerator/パラグラフ構成要素から学べるライティング入門』、静哲人、2024、松柏社 ISBN:978-4-88198-790-2			
参考文献	授業時に適宜指示する。			
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。 課題のフィードバックは適宜授業内外（UNIPA等）で適切な手法を用いて行う。状況により遠隔授業になる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位 認定者	高橋 未希 (Bクラス)		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数			15 回	
授業の概要	本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction, Body, Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> Paragraph Writingの基礎〔書式(format)、構造(structure)、表現(expression)]をしっかりと身につける。 英語の論理構成(logic)と展開法(organization)ののっとり、を通じて的確に自分の考えを伝えることができる。 論理的な議論の展開(場合によっては日本語のそれとは違った)方法の基礎を学べる。 									
学修者への期待等	辞書必携です。テキストはブレインストーミング、モデルパラグラフの読解、語彙問題等に答えて、各Weekで扱うトピックについての知識や考えを整理する形式です。ペアワークやグループワーク時の意見交換ではトピックに関する考えを深め、様々な考えや情報を書き出すことにより実際に書く際の材料にしていきましょう。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業の進め方・ルールについて。 Week 1 Paragraphの構造・良いライティングとは				事前学修：シラバスをよく読んでおく 事後学修：授業中に指定された課題に取り組む				30	30
2	Week 2 英語にしやすい日本語の発想法				事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む				30	30
3	Week 3 Narrative Paragraphについて				事前学修：前回の授業で学んだことや学習したページを見返し、要点を抑える 事後学修：授業中に指定された課題に取り組む				30	30
4	Week 4 Descriptive Paragraphについて				事前学修：前回の授業で学んだことや学習したページを見返し、要点を抑える 事後学修：授業中に指定された課題に取り組む				30	30
5	Week 5 Create your own paragraph				事前学修：Week 1～4で学んだことの復習を行う 事後学修：授業中に指定されたトピックについてのライティング課題に取り組む				30	60
6	Week 6 Comparison / Contrast Paragraph について				事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む				30	30
7	Week 7 Advantages and Disadvantages について				事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む				30	30
8	Week 8 Create your own paragraph				事前学修：Week 5～7で学んだことの復習を行う 事後学修：授業中に指定されたトピックについてのライティング課題に取り組む				30	60

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
9	Week 9 Cause & Effect Paragraphについて	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	30
10	Week 10 Model Paragraph から書き方を学ぶ（接続詞、ディスコースマーカーについて）	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	30
11	Week 11 Create your own paragraph	事前学修：Week 9～10で学んだことの復習を行う 事後学修：授業中に指定されたトピックについてのライティング課題に取り組む	30	30
12	Week 12 Opinion paragraph について	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	30
13	Week 13 Model Paragraph から書き方を学ぶ（接続詞、ディスコースマーカーについて）	事前学修：テキストの解説部分を読み、要点を確認する 事後学修：指定された課題に取り組む	30	30
14	Week 14 Create your own paragraph	事前学修：Week 12～13で学んだことの復習を行う 事後学修：授業中に指定されたトピックについてのライティング課題に取り組む	30	30
15	Week 15 ParagraphからEssayへ	事前学修：Week1～14までに学習したことの復習を行う。 事後学修：授業中に指定されたトピックについてのライティング課題に取り組む	30	60
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード（ペアワーク グループワーク ）			
教科書	『はじめてのアカデミックライティング』 田地野彰 監修/マスワナ紗矢子他 編著 朝日出版社 ISBN:978-4-255-15648-4			
参考文献	授業時に適宜指示する。			
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。 課題のフィードバックは適宜授業内外（UNIPA等）で適切な手法を用いて行う。状況により遠隔授業になる場合がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●				●

科目名	American Studies				単位認定者	高橋 未希		評価の方法	授業内課題等 (小テスト・意見のまとめ等)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数	15 回		
授業の概要	この授業では、地域研究としての特徴を踏まえ、アメリカの社会・文化・歴史を学び、アメリカ各州の状況、及び人々の生活の多様なあり方を理解していくことを目指す。履修した学生は、アメリカについての基礎知識を学び、グローバルな視点から様々な状況を考える能力を培っていく。									
到達目標	<p>①アメリカの歴史、社会および文化に関する基本的な知識を理解することができる。</p> <p>②基本的な知識を活用しながら、アメリカ社会を中心とした諸事情や時事問題についての深い考察を行うことができる。</p> <p>③時事的話題を題材とした長文を読む語彙や構文、文法を理解し、読解力を高めることができる</p> <p>④トピックに関する自分自身の意見を考え、まとめることができる。</p>									
学修者への期待等	800字程度の長文を毎回読みますので、事前・事後の学習には十分に時間をかけてください。また、日々の国際ニュースに関心を持ち、自身の意見を考えることを意識しましょう。法律や政治、社会、国際についての説明文を読むため、関連した科目を積極的に履修することを勧めます。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業についての概要説明 Unit1 Gun Control (銃規制について) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit1についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
2	Unit2 Trump's Border Wall (移民政策とその問題について) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit2についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
3	Unit3 Occupy Wall Street (格差社会と資本主義社会) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit3についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
4	Unit4 Racism in America (人種問題について) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit3についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
5	Unit5 Obamacare and The Fear of Socialism (社会保障制度と政治の役割について) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit4についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
6	Unit6 Native American Struggle (ネイティブアメリカンの居留地が抱える問題について) / ペアワーク・ディスカッション				事前学修：Unit5についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。				60	30
7	Create your own opinion : Unit1～Unit6までの内容についてのまとめ活動 (ディスカッション・グループワーク活動等)				事前学修：Unit1～Unit6についてのトピックについて意見を考えておく 事後学修：活動で行ったことを復習し、自分の意見について要点を整理しておくこと。				60	30

回	授業計画	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
8	意見発表活動およびUnit1～Unit6までの内容についての確認活動	事前学修：意見発表活動の準備をおこなうこと 事後学修：Unit1～Unit6までを復習し、テキストの要点を整理しておくこと。	60	30
9	Unit7 Women's Rights Movement (女性の権利運動について) / ペアワーク・ディスカッション	事前学修：Unit7についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。	60	30
10	Unit9 The Student Loan Crisis (大学教育の仕組みと学生ローンについて) / ペアワーク・ディスカッション	事前学修：Unit9についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。	60	30
11	Unit11 Shale Gas (天然資源と環境問題について) / ペアワーク・ディスカッション	事前学修：Unit11についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。	60	30
12	Unit12 Plastic Garbage in the Ocean (海洋環境問題について) / ペアワーク・ディスカッション	事前学修：Unit12についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。	60	30
13	Unit13 Genetically Modified Foods (農業と環境問題について) / ペアワーク・ディスカッション	事前学修：Unit13についての問題についてあらかじめ解答をしておく 事後学修：全体を復習し、小テストに備え、要点を整理しておくこと。	60	30
14	Create own opinion : 9回目～13回目までの内容についてのまとめ活動 (ディスカッション・グループワーク活動等)	事前学修：9回目～13回目までのトピックについて意見を考えておく 事後学修：活動で行ったことを復習し、自分の意見について再度要点を整理しておくこと。	60	30
15	意見発表活動および9回目～13回目までの内容についての確認活動	事前学修：意見発表活動の準備をおこなうこと 事後学修：9回目～13回目までの授業で扱ったテキストを復習し、要点を整理しておくこと。	60	30
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 該当なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当あり：キーワード (ペアワーク ディスカッション)			
教科書	『Inside and Out 現代アメリカを読み解く』 塚田幸光 / 中村嘉雄 / Ayed Hasian 著 金星堂 ISBN : 978-4-7647-4148-5			
参考文献	授業内で適宜紹介する。			
備考	状況により遠隔授業に変更する可能性がある。小テスト等のフィードバックはその都度行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する可能性がある。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

現代英語学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	アイダ アキコ 相田 明子	相田 研究室	022-395-5942	a_aida@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ジョーンズ ドミニク JONES DOMINIC	ジョーンズ 研究室	022-302-5490	d_jones@seiyogakuin.ac.jp
3	准教授	コマツ ヨシタカ 小松 義隆	小松 研究室	022-302-5584	y_komatsu@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	タカハシ ミキ 高橋 未希	高橋 研究室	022-302-5489	m_takahashi@seiyogakuin.ac.jp

現代英語学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
法律入門	2	鈴木 一樹	公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事。
ビジネスプロトコール	2	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
キャリア形成演習 I	1	大和田 裕佳	現在キャリア関係会社にて勤務。大企業、中小企業等の民間、行政で勤務等10年以上の実務経験を持つ。
キャリア形成演習 II	1	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
秘書実務	2	細川 久美子	2011年より、株式会社総務部門での実務を担当しつつ、現在、人事・教育サービス会社の取締役。
観光ビジネス論	2	鎌田 貢治	40数年旅行会社に在籍していた経験を活かし、様々な体験を随時伝えていきたい。
ホスピタリティ論	2	浦沢 みよこ	留学カウンセラー歴35年、留学エージェント経営30年、大学等でキャリア、ビジネスの講師経験。資格：キャリアカウンセラー、総合旅行業務取扱管理者。
	12	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	